



2年必修「現代文B」の授業

- 科目名 現代文B（2年必修・4単位）
- 担当者 後藤大心（教諭、進路指導部長、テニス部顧問、本校1年目、趣味はe-sports）
- 本授業 小説「ナイン」井上ひさし著の3回目（3/6）
登場人物のポジション、家業、現在の職業と居住地などの情報を整理し、文章内の表現と整理した情報から読み取れる町の変遷やその背景について考える。



『ナイン』は井上ひさしによる短編小説である。文章自体は比較的平易なものである一方で、舞台が東京の四谷であり、あの頃と表現されている高度経済成長期と今と表現されているバブル経済期という2つの時代を知らない羅臼高校生(いまの若者)にとっては小説が書かれた時代や背景をイメージするのが重要となる教材である。

テーマである「なぜ人は人を信じることができるのか」を考えるには、作中人物の心情にどこまで寄り添えるかということが大切となる。特に正太郎に対する英夫や常雄の態度については、第三者から考えると常識的には理解しがたいものであるが、読解を通じ、小説中の人物と読者との間であの日の出来事や思いを共有することで、共感が生じるといい。また、この小説に「わたし」が存在する意味を考えることにより、読みの幅が広がる。

最近の2学年は、授業への取り組みが良くなってきました。
高校生の本分は「学ぶこと」です。がんばって下さい。

現代文B

学年・形態	2学年・必修	教科書	(第一学習社) 標準現代文B			
単位数	4単位	副教材	(第一学習社) 標準現代文B学習課題集W			
科目の目標	近代以降の文章を的確に理解し表現する能力を高めるとともに、ものの見方や考え方を深めることにより国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を身に付ける。					
学習内容	(1) 随想 (2) 小説 (3) 評論					
評価の方法	①参加態度・課題（関心意欲態度）20% ②発表活動（話す能力・聞く能力）20% ③定期考査・課題（書く能力）20% ④定期考査・課題（読む能力）20% ⑤定期考査・課題（知識・理解）20% ①～⑤を合算したものを評価点とする。 評価点が30未満に該当した場合、評価及び評定を1とする。					
評価	観点	関心・意欲・態度	話す能力・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	対象	・授業態度 ・課題の提出	・課題の内容 ・発表活動	・定期考査 ・課題の内容	・定期考査 ・課題の内容	・定期考査 ・課題の内容
	S	授業や課題などに、主体的・意欲的・継続的に取り組んでおり、表現や知識の習得に結びついている。	話題について自分の考えを持ち、相手の立場や考えを尊重し、適切に表現している。	話題について自分の考えを持ち、構成を工夫してまとめている。相手や目的に応じて表現の仕方を考えている。	文章の構成を読み取り、筆者の主張を理解している。文章を人物、情景、心情などの表現に即して読みを味わっている。	基礎知識を身に付け、構成を工夫してまとめる力、相手や目的に応じた表現を考える力がある。
	A	授業や課題などに、主体的・意欲的・継続的に取り組んでいる。	話題について自分の考えを持ち、適切に表現している。	話題について自分の考えを持ち、構成を工夫してまとめている。目的に応じて表現の仕方を考えている。	文章の構成を読み取り、筆者の主張を理解している。表現の特色に注意して読んでいる。	基礎知識を身に付け、構成を工夫してまとめる力、目的に応じた表現を考える力がある。
	B	授業や課題などに、概ね主体的に取り組んでいる。	話題について自分の考えを持ち、表現している。	話題について自分の考えを持ち、構成を工夫してまとめている。	文章の構成を読み取り、筆者の主張を理解している。	基礎的な知識が身についている。
C	授業や課題などに主体的に取り組んでいない。	話題について自分の考えを持ち、表現できていない。	話題について自分の考えを持ち、構成を工夫してまとめることができていない。	文章の構成を読み取り、筆者の主張を理解できていない。	基礎的な知識が身につけていない。	
成績不振要注意者の基準		定期考査において得点が30点に満たない者				

	単元名	主な学習内容
前期	随想 小説	「私」という「自分」 デューク ナイン
	随想 小説	ワスレナグサ 話を聞かせて
後期	評論 小説	僕らの時代のメディア・リテラシー こころ バグダッドの靴磨き
	評論	経験の教えについて

